



9月号
(第370号)

50th

武庫川女子大学
附属中学校・高等学校

A先生の話

進路指導部長 下箱石 尊



私の知人に、プロのお菓子職人（パティシエ）を育成する学校の先生がいます。仮にA先生としましょう。A先生は私と年齢も近く、とても気さくな方で、お会いするといつも様々な話を聞かせてくださいます。

A先生が勤めていらっしゃる学校の文化祭はとても盛大で、未来のパティシエが作ったお菓子を求めて、地域の方々はもとより、遠方からもお客さんが来られるそうです。その数、二日間でなんと三万人。

それだけ多くのお客様を迎える文化祭の準備は、およそ半年前から始まるそうです。文化祭に向けての授業で、A先生が学生さんたちに最初に指導するのは、「原価計算」だそうなんです。お菓子の材料の見分け方でも、お店の飾り付けのコツでもなく、「原価計算」だそうなんです。お菓子に限らず、何かを作ったって売るときは、原価計算が欠かせません。でも、「ここで言う『原価』とは、お菓子を作るための材料費だけではありません。ガス料金・水道料金・電気料金……様々なものが含まれます。

様々な「原価」の中で、いつもA先生が最初に指導されるのは、お菓子を大量に作り、売ったことで発生したゴミを回収業者の方に引き取ってもらう、その費用を計算することだそうなんです。また、A先生はそれ以外にも様々なことを指導し、学生さんたちに考えさせるそうです。

たとえば、コップは紙コップを使うか、レンタルのグラスを使うか？ 水はミネラルウォーターを出すか、浄水器を通した水道水にするか？ など。お菓子の販売時間は午前十時から午後五時までの七時間。クラスごとに店を出すので、製造可能な量も考えなければなりません。午後一時で売りが切れてしまったらそれも計算が不十分で駄目だそうなんです。

このように学生さんたちには、お菓子を作り、売るために考えなければならぬことが山のようにあります。細かなことまで考えてから、材料やその他のものを仕入れ、協力して作り、適正と考えられる価格を設定し、最適な接客も意識しながら、お客さんにお菓子を届けてあげることが、A先生が教えている学生さんたちはプロのパティシエを目指しています。お菓子を作るために必要な小麦粉や果物、砂糖の費用や質にはすぐに目を向けられます。けれど、それ以外の、「お菓子を売ること・売ることの周り」にある様々なものにはなかなか目が向かないものなのです。たとえば、作った後の「廃棄すること」もそうなんです。「無駄なものはないか」を考えることもそうです。でも、そのような「本来の目的の周り」にある様々なものを考えなければ、よいものは作れないと思います。学生たちが「本来の目的の周り」にある様々なものを考える最初の一歩にしているつもりです」とA先生は話されました。

目標を見据え、その目標達成のために必要なことだけを考えるのではなく、その周りにある様々なものや人にも目を向けること。改めて大切なことだと思いました。

武庫川学院創立80周年記念講演 中村哲先生を迎えて「アフガニスタンに命の水を」

8月21日（水）全校登校日、公江記念講堂において、武庫川学院創立80周年記念講演が催されました。第一部はコーラス部の演奏とDVD鑑賞で、第二部はペシャワール会現地代表、PMS（ピース・ジャパン・メディカル・サービス）総院長の中村哲

先生による「アフガニスタンに命の水を」と題した講演と、中村先生を交えたトークセッションを行いました。本校の生徒だけでなく、一般の方も多数ご来場くださり、講演会、トークセッションともに大いに盛り上がりました。

当日のトークセッションを企画した高校2年生は、「中村先生とトークセッションをするにあたり、数ヶ月前から準備を進めてきました。中村先生の活動記録を記したビデオでは、一人の日本人医師がアフガニスタンに25kmの用水路を建設し、たくさんの方々が救われたとあり、感銘を受けました。それからみんなで、トークセッションの内容について考えました。今回、中村先生とお話させていただき、「自分のできる等身大のことをしてください」という言葉が印象に残りました。私たちにできることは、今の状態を知ることなのだと思いました。私たちが今住んでいる日本は、水の存在は当たり前のようになっていますが、この当たり前であることに感謝し、今私たちにできることは何か、生きていく上で大事なことは何かを考えなければならぬと思いました」と感想を述べてくれました。



101回目の夏を締めくくりました

放送部高校1年の金山未来さんが、甲子園球場で行われた夏の高校野球の閉会式で司会を務めました。

金山さんは、「今年の夏、第101回全国高等学校野球選手権大会の閉会式で司会をさせていただきました。『甲子園球場で司会をする』というのは私にとって大きな目標であり、憧れでもあったので、司会に推薦していただいた時にはとても驚きました。今まで多くの武庫川の先輩が担当されてきましたが、1年生の私にはまだ早いと感じながらもとても嬉しかったです。

高校野球でのアナウンスは放送部のふだんの話し方と違うため、練習が進んでいく中で、本当に務められるのか不安に思ったこともありましたが、卒業生の先輩や多くの方々からの励ましで本番を迎えることができました。閉会式はとても緊張しましたが、大切に



で貴重な経験をさせていただくことができました。指導してくださった先生方や先輩、支えてくれた友人や後輩、家族など本当にたくさんの方々へ感謝しています。これからはまた、新しい次の目標に向かって頑張っていきます」と話してくれました。

模擬国連に出場し、優秀賞を受賞！

8月7日（水）～8日（木）に、東京の国立オリンピック記念青少年総合センターで開催された第3回全国高校教育模擬国連大会（AJEMUN）に高校2年生の湯木瑠子さんと伊勢菜砂さん、高校1年生の山田朝葉さんが出場し、優秀賞を受賞しました。模擬国連とは、それぞれが各国の大使となり、政策立案や他の国との交渉を行い、国と世界の利益の両立と国際問題の解決を目指すものです。3名は大会本部の指定で「日本」を担当しました。伊勢さんは、「私達は奇跡的にも母国の日本大使を務めることができました。日本大使として今回の議題の『国際移住と開発』に向き合えたことに感謝しています。なぜなら、今年4月から改正入管法が施行され、ますます海外の人が増えていく自国について、模擬国連をする上で真剣に考えるきっかけをいただけただけからです。模擬国連の最大の利点は国の大使になることができる点だと私は考えます。これからも国際問題について幅広く考えていく視野を持っていてほしいです」と話してくれました。



体育大会のご案内

・体育大会参観のご案内（小学生・中学生対象）
日時：10月6日（日）9時開会式
※雨天時10月7日（月）
場所：武庫川女子大学総合スタジアム（阪神甲子園から現地まで有料バスを運行します）

各学年がそれぞれ力を合わせて行うマッスゲームは壮大ですばらしく、また、マーチングバンド部や創作ダンス部、バトントワリング部の演技披露も華やかで見応えのあるものばかりです。ぜひ、武庫女の体育大会をご覧ください。事前の予約は不要です。当日は個別相談会も現地で行います。関心のある方はお立ち寄りください。

中学1年MSツアー

8月5日(月)から3日間、中学1年MSツアーが行われ、CSコース35名、CGコース1名が参加しました。



1日目の昼頃、松江市に到着し、島根県宍道湖ゴビウスで、館内見学とバックヤードツアーを行いました。その後宍道湖に入り、皆びしょびしょになりながら、生物採集を楽しみました。そしてヤマトシジミやテナガエビなど、それぞれの種の同定を行いました。

2日目は和銅博物館で日本の伝統的製鉄法の「たたら」について学びました。午後は三瓶小豆原埋没林公園を見学しました。地中で、生きていた当時のまま根を張り、直立している埋没林の長い幹は圧巻で、生徒たちは感嘆の声をあげていました。

3日目は、秋吉台科学博物館でカルスト台地について学び、その後化石掘りを体験しました。各々ハンマーで石を叩き、サンゴや腕足貝、フズリナ、マイクローブなどを見つけることができました。化石掘りの後は、実際に秋吉台の冠山に登り、雄大な自然を満喫しました。午後は、秋芳洞を見学しました。日本最大規模の鍾乳洞で、時間が凍結したような不思議な自然の造形の数々は、私たちの心に大きな感動を呼び起こさせてくれました。

参加した生徒は「この3日間を通して皆さんの自然に触れることができました。MSツアーでしかできないような貴重な体験がたくさんできたのでとても有意義な3日間になりました」と感想を話してくれました。

中学2年MSツアー

中学2年CSコースは、8月1日(木)〜3日(土)の2泊3日で名古屋方面にMSツアーに行きました。トヨタ産業技術記念館や日本モンキーセンター、愛知高速交通株式会社、名古屋港水族館など数多くの場所に行くことができ、施設を見学するだけでなく、そこで研究をされている方や働か

れている方からお話を直接お聞きする場面も多くなりました。特に日本モンキーセンターでの研修



は、霊長類についての学習だけでなく、物事を科学的に考えるために必要な姿勢というものを教えていただき、貴重な時間となりました。とても濃密な2泊3日でしたが、各地での研修や夜の報告会を含め、今回学んだことを無駄にしないよう、これからのCS活動につなげていきたいと思います。

中学3年MSツアー

中学3年CSコースは、8月1日(木)〜3日(土)の3日間で、横浜・東京方面のMSツアーを実施しました。

1日目は、海と地球の研究所である海洋研究開発機構(JAMSTEC)横浜研究所で研修を行いました。研究員の木戸ゆかりさんから、JAMSTECで行われている最先端の研究や調査、実際に木戸さんが乗船されている地球深部探査船「ちきゅう」での研究内容や研究者としての生活や姿勢、思いについて学ばせていただきました。

2日目は、サイエンス・スクエアつくば、地質標本館、JAXA相模原キャンパスで研修を行いました。サイエンス・スクエアつくばでは、産総研の最新の研究成果を、地質標本館では、地球のメカニズムを学ぶことができました。また、JAXA相模原キャンパスでは、ふだん入ることのできない宇宙探査実験棟を見学させていただきました。その後、宇宙科学探査交流棟で宇宙科学の歴史やその技術、最新の研究について学ばせていただきました。

3日目は、日本科学未来館、パナソニックセンター東京で研修を行いました。日本科学未来館では、日々の素朴な疑問から最新テクノロジー、地球環境、宇宙の探求まで、さまざまな視点で科学技術を体験し、学ぶことができました。また、企画展「マンモス展」も見学することができました。パナソニックセンター東京では、理数の魅力・体感ミュージアム「リスポピア」で、様々な体験型展示を通して理数の原理・法則を楽しく学ぶことができました。

今回の研修は、生徒たちにとって、自分の将来像や社会の一員としての自分たちに何ができるのかなどをあらためて考える、とても良い機会となりました。



高校1年MSツアー

8月26日(月)〜28日(水)の3日間、茨城県つくば方面で研修を行いました。1日目は、国立研究開発法人物質・材料研究機構

に訪れました。ジェットエンジン用高温材料と超高密度磁気の2つの研究室を見学し、女性研究者たちがいきいき研究される姿に刺激を受けました。また研究所内の会話はすべて英語で、改めて英語の重要性を感じました。次に大学共同利用機関法人高エネルギー加速器機構を訪れ、高エネルギーの電子と陽電子の衝突から未来を切り拓く世界を見学しました。

2日目の午前は筑波実験植物園を訪れ、コシガヤホシクサなど絶滅危惧植物を実際に観察し、自然との共生の必要性を感じました。その後筑波大学に行き、遺伝子組み換え植物の環境安全性についての講義を聞き、遺伝子実験センターを見学しました。午後から国立環境研究所を訪れ、2010年度から大規模国家プロジェクトとして取り組まれているエコチル調査で環境が母子に与える影響についての話を聞きました。微生物系統保存施設は、世界でもトップレベルの藻類株保存機関であるため、保存施設を全国3カ所に設け、災害に備えていました。サイバードインスタジョでは、医療や介護、重作業といった体を酷使する作業を補助するロボットスーツHALを開発しており、実際に装着して体験し、身体の不自由な方にとって希望を与えるロボットでさらなる開発と普及が望まれる分野だと感じました。

3日目はツムラ漢方記念館を訪れ、館内と薬草園を見学しました。実際に本物の薬草を手に取り匂いを嗅ぐことができ、生薬に大変興味をもちました。その後東京スカイツリーに行きました。3日間の研修を通して、いろいろな分野の日本の最先端科学に触れ、そこで働く女性研究者の姿を見て、自分の将来の進路を考える良い機会となり充実した研修になりました。参加した生徒は「今回多くの女性研究者と接することができ、みなさんとても楽しそうに仕事さ

れ、やりがいがあるのだと実感しました。私ももっと視野を広げて、自分の好きな分野を追求していきたいように努力します」と話してくれました。



高校2年MSツアー

1日目は東京大学農学部での研修でした。4つの研究室を訪ね、最先端の研究内容について、わかりやすく説明していただきました。その後、女子大学生、大学院生の方と懇談会を行い、現在の研究内容や、高校時代の過ごし方についてお話を聞くことができました。

2日目は、午前には横浜市のファンケル総合研究所で、化粧品や健康食品の開発について学びました。サプリメントの試作の様子など実際の研究の現場を

見ることができました。午後からは、東京の国立科学博物館で班ごとに見学研修をしました。自然や科学技術について、生徒それぞれが興味を持った展示を熱心に見学していました。

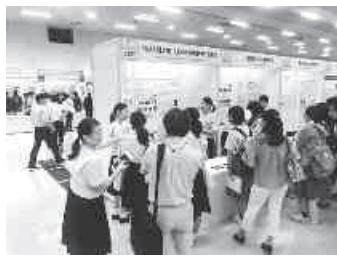


最終日は、つくば市での研修でした。まず筑波大学附属病院陽子線医学利用研究センターを訪問しました。陽子線治療で使われている装置の仕組みや、治療室に施された工夫について貴重なお話をお伺いしました。また、女性医師の方に、高校時代から現在の仕事に至るまでのご自身の体験をお話していただきました。最後は、サイエンススクエアつくばで、産業技術総合研究所の研究成果を楽しみながら見学しました。

今回のサイエンスツアーでは、それぞれの研修場所で女性研究者の方々と交流を持つ機会がありました。今後の自分自身の進路選択や、学習、研究活動に向けて、大いに刺激を受けた研修になりました。

全国SSH生徒研究発表会

文部科学省主催「全国SSH生徒研究発表会」が、8月7日(水)・8日(木)の2日間、神戸国際展示場で開催されました。国内218校、海外招聘校23校、計241校、総数約4,500名が一堂に会し、熱の入った活発な雰囲気での発表が行われました。この発表会は、全国の各SSH校から1グループのみ発表が許される、選りすぐりの発表会で、日本の高校生



の知恵の宝庫です。本校からは高校3年SSコースの内海妃那さん、遠藤穂香さん、中村友奏さんの3人が「葉の色素の吸光度による色素増感型太陽電池の発電量変化」というタイトルで発表を行いました。1日目は、基調講演に続き、午前中2時間、午後から約3時間、2日目も1時間、計約6時間の発表・質疑応答が途切れることなく続きました。それでも発表した3人は、疲れた表情も見せず、最後まで、笑顔溢れる堂々とした発表をやり遂げました。まさに「知を拓く」貴重な体験となりました。

「知りたい」という思いを大切に育み、真理を追究するとこんなにも素晴らしい世界に到達するんだ、ということに改めて実感できる貴重な時間となりました。このことは、この場に参加した人だけが味わうことのできる良質な体験かもしれません。

中 英 English Camp

今年度初めて、三学年合同で、丹嶺学苑において2泊3日のイングリッシュ・キャンプを行いました。キャンプの間は、日本語禁止で取り組みました。授業は、少人数のグループに分かれて行い、ゲームなども交えながら、楽しみながら英語漬けの時間を過ごしました。最終日には全員、プレゼンテーションの発表も行いました。

3年生はさすがに最高学年ということで、授業だけでなく、キャンプ全体に積極的に関わり、活動していました。はじめは緊張していた1年生も、最終日にはとても良い笑顔で、自分たちから積極的に英語を話す姿がみられました。初日には、日本語を使ってしまう生徒もいて注意を受けることもありましたが、最終日には、そのような生徒もなくなり、充実した笑顔で修了式を迎えていました。

どのグループも先生方の熱い思いに添えて、最終日のプレゼンテーション発表当日は、早朝から準備をしていたグループもたくさんありました。来年度以降も、このような機会を持つことができばよいと思います。今回の経験で学んだことを2学期以降の英語学習につなげていってほしいと思います。



中学海外研修

今年度から新たにタイでのグローバル研修が始まりました。参加した中学2年小川莉央さんからの報告です。

8月6日(火)～12日(月)まで、タイのチェンマイへグローバル研修に行きました。私は、不安と楽しみな気持ちいっぱい参加しました。バンコク経由でチェンマイへむかいましたが、バンコクに着いたとき、目に入った文字がタイ語ばかりで、日本を飛び立ったということを実感し、友達とはしゃいだことを覚えています。

2日目からは文化交流が始まりました。研修先の学校はとても広く、バスを降りたら現地校の生徒が手を振ってくれたり、タイと日本の両方の国旗を持ってきていて、心が温かくなりました。現地校の生徒との文化交流では、1日目はタイから日本に、2日目は日本からタイに、お互いの文化を教え合いました。タイの生徒からは民族衣装を着せてもらったり、タイ語を教えてもらったりしました。日

本の生徒は、各チームに分かれて学園祭のブースを担当し、いろいろな日本文化を紹介しました。

初日の放課後、待ちに待ったホストファミリーとの対面がありました。まだ写真でしか見たことがなく、楽しみという気持ちの中に緊張もあったように思います。しかし、ホストファミリーは「こんにちは」と笑顔で迎え入れてくださり、私たちも自然と笑顔になりました。ホストファミリーの皆さんは、私たちを本当の家族のように接してくださり、短いけれど充実した時間になりました。

私はこの研修で「物事は見方によって変わる」ということを学びました。「失敗したらどうしよう」とではなく「成功へのチャンスが自分に訪れている」、「おいしくなかったらいやだな」ではなく「新しくおいしい食べ物が見つかるかも」という風に、どんなマイナスなことも視点を変えればプラスに変わること学ぶことができました。また、「自分から一歩踏み出さないと何も変えられない」ということも学ぶことができました。まずは行動に移すこと。日本でも積極的に物事に取り組んでいこうと思っています。今回のグローバル研修を経て、大きく成長できたように思います。この研修で得た経験を生かして、今まで以上に人との関わりを大切にして、様々なことにチャレンジしていこうと思います。



高1 SE English Camp

8月18日(日)～20日(火)の3日間、高校1年CGコースSE系の生徒たちは丹嶺学苑研修センターでイングリッシュ・キャンプを実施しました。

本学年では隔週土曜日のMSタイムや4月に行った合宿研修などでSDGsの17の目標を達成するために世界の現状を知り、私たちには何ができるのか考える学習に取り組んでいます。そこで、今回のイングリッシュ・キャンプでは、SDGsに関して英語でディスカッション・プレゼンテーションをしました。

丹嶺学苑へ入苑後すぐに活動は始まり、最初はグループ内での自己紹介でしたが、生徒たちは緊張した様子でした。しかし、ネイティブの先生が積極的に質問をしたり、楽しく盛り上げてくれ、生徒たち



の固い雰囲気がどんどん和らいでいきました。

2日目はSDGsの17の目標のうち、「Zero Hunger」、「Quality Education」、「Sustainable Cities and Communities」の3つの目標について、事前学習を深め、英語でディスカッションをしました。その後、そこで得たさまざまな意見からプレゼンテーションの原稿を作成しました。

3日目は、プレゼンテーションをする上で大切なアイコンタクトや表現の仕方の指導を受け、最後にこの3日間で学んだことを心掛けながら発表会をしました。

生徒は、「積極的に会話を続ける大切さを感じました。アシスタントの方が質問に対して色々な情報をつけ加えて、さらに質問で返す姿を見て、自分ができる範囲の英語を使って、書く、読むだけでなく話すと言う実践的な力もつけられるように、これからは頑張りたいと思います」と感想を話してくれました。

高2 English Workshop

8月24日(土)～26日(月)まで、恒例のSEコース・イングリッシュ・ワークショップが行われました。高校1年でのイングリッシュ・キャンプでは、日頃の英語の学習の成果をプレゼンテーションの形で発表するスキルを学び、実践しました。高校2年では、さらにレベルアップして、ディベートという形で英語を使うスキルを学びました。外部講師4名を招聘し、1クラスを4つのグループに分け、それぞれの講師に、共通の教材とスケジュールで3日間にわたってみっちり生徒たちを指導していただきました。



まず簡単なテーマでディベートの基礎を学び、徐々にレベルを上げていきました。最後は、それぞれのグループ内で「日本は消費税を上げるべきである」というテーマに対して、賛成・反対の立場で、英語で論戦を戦わせました。そこで勝利したグループが、全員の参加した会場でトーナメント戦を行い、優勝チームを決定しました。

3日間を通して、生徒たちは真剣に講師の英語に聞き入り、反応し、発言をしていました。集中講座のメリットは、短期間で急激に力が伸びることです。教室を訪れるたびにそれを実感しました。

高校海外研修

オーストラリアのクイーンズランド州ゴールドコーストにあるセント・ヒルダズスクールで17日間、英語研修を行いました。研修には高校1・2年生が参加し、全日程ホームステイで過ごし、ホストファミリーの作ってくれたランチ持参で登校しました。英語の授業だけでなく、バディの生徒とともにセント・ヒルダズスクールの授業を受けることにより、外国の授業の様子も知ることができました。全校生徒の前で学院歌や「パブリカ」の歌とダンスを披露し、校内でいろいろな生徒たちや先生からも気さくに声をかけていただきました。また、リタイアメントヴィレッジを訪れ、書道やぶんぶんゴマ、折り紙、福笑い、けん玉など日本文化の一端を紹介しました。カランビン動物公園やアルンデルパークでは動物とのふれあいも楽しみました。

生徒たちは英語力を磨いただけでなく、現地の同世代の人たちやいろいろな人たちと交流することによって視野も広がることができました。また、ホストファミリーと期待や不安の中で出会い、そして2週間ともに過ごしたことは貴重な経験であり、一生忘れられない思い出になることと思います。この研修で学んだことをぜひ今後の人生に生かしていってほしいと思います。



学校のリーダーとして

8月22日(木)～23日(金)、丹嶺学苑研修センターでリーダートレーニングが行われました。これは、正副委員長や各委員会の学年代表の生徒たちが、2日間にわたりリーダーとしての自覚やスキルを身につける合宿です。今年のテーマは「まねる、まなぶ」でした。各学年や委員会で行っていることを共有して、良いところを取り入れていこうという意味を込め、高校3年生が様々なトレーニング内容を考えました。今回は例年と違い、高校2年生へバトンをつなぐために、2年生主体のプログラムもあり、充実した時間を過ごしていました。

学校目標である「日進月歩」するために、2日間で学んだ他学年、委員会、友人たちの良い点をまね、リーダーとして後期も頑張ります。



☆様々な分野での活躍

【第3回全国高校教育模範国連大会】

8/8 国立オリンピック記念青少年総合センター 優秀賞 湯木 瑠子(高2) 伊勢 菜砂(高2) 山田 朝葉(高1)

【コーラス部】

◇第86回NHK全国学校音楽コンクール兵庫県大会 高校8/4 中学8/8 姫路市民文化センター 金賞 高校 金賞

◇第86回NHK全国学校音楽コンクール 近畿ブロックコンクール 高校9/8 NHK大阪ホール 中学9/7 高校9/8

※この結果、高校コーラス部は10月12日(土)にNHKホールで行われる全国大会に出場することが決定しました。

◇2019年度 兵庫県合唱コンクール 8/17 県立芸術文化センター 大ホール 中学校 金賞 高校 金賞

【新体操部】

◇令和元年度兵庫県新体操選手権大会 7/19 兵庫県立総合体育館 高校団体 Aチーム 3位

仲西 陽菜(高3) 洪谷 実咲(高3) 春里 日菜(高3) 渥美 心琴(高1) 山本菜々子(高1) 勝 菜々穂(高2)

高田 花実(高1) 淀川 美月(高1) 末澤 佑理(高1) 中澤 彩葉(高1) 春里 菜月(中3) 川瀬 結衣(中3)

周家 琴音(中3) 山本萌々花(中2) 仲西 愛(中2) 山本萌々花(中2)

◇第68回近畿中学校総合体育大会新体操大会 8/4 野洲市総合体育館 団体競技 4位

春里 菜月(中3) 川瀬 結衣(中3) 周家 琴音(中3) 山本萌々花(中2)

◇令和元年度全国中学校体育大会 第50回全国中学校新体操選手権大会 8/22 ジュイテクトアリーナ奈良 団体競技 23位

菜月 結衣(中3) 周家 琴音(中3) 仲西 愛(中2) 山本萌々花(中2) 川瀬 結衣(中3) 糟谷奈津代(中1)

◇令和元年度全国高校総体 水泳競技会 8/17 熊本アクアドーム 61位

200m 個人メドレー 1位 北山ひより(高2) 400m 個人メドレー 2位 小川 桃香(高2) 100m バタフライ 3位 西本 怜(高2) 100m バタフライ 4位 西本 怜(高2)

◇令和元年度第55回兵庫県中学校学年別水泳競技大会 8/23 神戸ポートアイランドスポーツセンター 女子総合 第2位

4x100mメドレーリレー 2位 松本 尚子(中2) 小方 桃菜(中2) 國森 彩咲(中1) 合葉 愛美(中2)

4x100mフリーリレー 2位 竹内 紗(中1) 松本 尚子(中2) 合葉 愛美(中2)

(1年の部) 100m バタフライ 3位 國森 彩咲(中1) 100m 自由形 5位 竹内 紗(中1)

(2年の部) 100m 背泳ぎ 7位 松本 尚子(中2) 100m バタフライ 4位 小方 桃菜(中2)

100m 自由形 2位 合葉 愛美(中2) (3年の部) 50m 自由形 3位 丸井 花音(中3)

◇第62回兵庫県高等学校ジュニア選手権水泳競技大会 9/7 神戸ポートアイランドスポーツセンター 女子総合 第2位

4x100mメドレーリレー 3位 中嶋望々花(高2) 西本 怜(高2) 中嶋望々花(高2) 北山ひより(高2)

4x100mフリーリレー 2位 足立 理音(高2) 北山ひより(高2) 小川 桃香(高2)

200m 個人メドレー 1位 大会新記録樹立 西本 怜(高2) 大会新記録樹立

50m 自由形 2位 小川 桃香(高2) 50m バタフライ 2位 北山ひより(高2)

50m 背泳ぎ 2位 大橋 鈴羅(高1) 100m 自由形 4位 中嶋望々花(高2)

7位 足立 理音(高2) 【バトントワリング部】 JAPAN CUP 2019 8/16 武蔵野の森 総合スポーツプラザ

◇第66回NHK杯全国高校放送コンテスト全国大会 7/23 国立オリンピック記念青少年総合センター・NHKホール

テレビドキュメント部門 準決勝出場 「カビがある」制作奨励賞 アナウンス部門 準決勝出場

◇第36回NHK杯全国中学校放送コンテスト全国大会 8/3 4・16 NHK放送センター・千代田放送会館 全国大会決勝入選

◇第43回全国高等学校総合文化祭(さが総文) 放送部門 朗読部門 重見 佳奈(高2) 文化連盟賞

アナウンス部門 宮本 佳歩(高3) 文化連盟賞

◇令和元年度 第63回兵庫県中学校総合体育大会 第70回兵庫県中学校体育大会

7/30 グリーンアリーナ神戸 団体の部 3位

森 美咲(中3) 荒谷 すぐ(中3) 三嶋 心美(中2) 木下 凜子(中1)

◇令和元年度 兵庫県民体育大会 8/17 加古川市総合体育館

◇第47回兵庫県マーチングコンテスト 9/8 グリーンアリーナ神戸

◇第37回兵庫県高等学校独唱独奏コンクール 8/22 声楽8/23

ピアニ部門 早矢仕千尋(高3) 金賞(5位)

10月行事予定

Table with columns for Day (日曜), Date, and Event details. Includes items like 'Winter clothing change', 'School fee increase', 'Sports Day', and 'Examination'.

オープンスクール・入試説明会・個別相談会のお知らせ

・小学生対象第3回個別相談会 日時：10月13日(日) 9時～12時
・小学生対象第2回入試説明会・第4回個別相談会 日時：10月27日(日) 9時～11時30分(個別相談会) 13時～14時30分(入試説明会)
・小学生対象第3回入試説明会 日時：11月9日(土) 9時30分～11時30分(プレテスト) 9時30分～11時(入試説明会)
・中学生対象第2回入試説明会・個別相談会 日時：10月27日(日) 10時～11時30分(入試説明会) 11時30分～14時(個別相談会)